

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：社会福祉諸費

事業名 福祉人材総合ポータルサイト運営事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 地域福祉課 福祉人材係 電話番号：058-272-1111(内3448)

E-mail：c11219@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,206 千円 (前年度予算額： 1,206 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,206	603	0	0	0	0	0	0	603
要求額	1,206	603	0	0	0	0	0	0	603
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

福祉分野の仕事に対しては依然としてマイナスイメージが強く、人材参入の阻害要因となっている。WEBを活用した情報収集が主流となる中、仕事の魅力や働き方改革等の情報を発信していくことで、福祉分野の仕事への理解促進による人材の確保と、職場の環境改善による人材の確保と定着を図る。

(2) 事業内容

- ・福祉の仕事に関する情報を一元的に発信するポータルサイトを運営する。
- ・コンテンツは学生から転職希望者まで幅広い層を対象に、福祉の仕事の内容ややりがい、イベントや研修情報、各種支援制度等について情報発信する。
- ・必要に応じてポータルサイト内の情報の更新、修正及び保守管理も行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

生活困窮者就労準備支援事業費等補助金を活用。国 1 / 2。

(4) 類似事業の有無

介護人材総合情報サイト運営事業費【高齢福祉課 11,915千円 (R5)】

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	1,206	コンテンツ制作 457千円 サイト公開・保守 540千円 一般管理費 100千円 消費税及び地方消費税 109千円
合計	1,206	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第5期岐阜県地域福祉支援計画

(2) 後年度の財政負担

毎年、コンテンツ更新の作業料、保守・運営経費等の負担が生ずる。

(3) 事業主体及びその妥当性

県の独自事業であり、県が事業主体であることは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

福祉の仕事内容や研修内容等を一元的に発信することで、福祉人材の確保・育成・定着を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H30)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
ポータルサイトアクセス数（件）	0	11,019	7,200	7,200	7,200	153.0%

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 福祉の仕事の内容ややりがいのほか、人材センターや関係団体等が行うイベント、研修情報等について発信した。 福祉の仕事に関する業務や研修等に関する情報の発信力を高め、福祉の仕事の魅力を幅広く伝えることができたことにより、福祉の仕事希望する人の増加が期待される。
	指標 目標：7,200件 実績：5,470件 達成率：76.0%
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 福祉の仕事の内容ややりがいのほか、人材センターや関係団体等が行うイベント、研修情報等について発信した。 令和3年7月にポータルサイトのリニューアルを行い、情報発信力の強化を図った。
	指標 目標：7,200件 実績：4,590件 達成率：63.8%
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 福祉関連事業所や求職者に人材センターの事業を広くPRした。 ポータルサイト内にmonthly web MAGAZINEを新たに開設し、福祉の仕事の魅力発信を行った。
	指標 目標：7,200件 実績：11,019件 達成率：153.0%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価) 3	福祉の仕事の魅力を伝え、理解促進を図ることで、新たな福祉人材の確保につなげるとともに、研修情報や改善事例の情報を発信することで、福祉人材の育成や職場の環境改善を促進する。
・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	ポータルサイトにより、利用者はワンストップで各種情報を得ることができ、理解促進つながっている。
・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価) 2	ポータルサイトの利用者に対し、効果的に福祉の仕事の魅力や各種情報発信できるなど、事業の効率化は図られている。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 ポータルサイトの閲覧者に福祉の魅力が伝わる内容にすること、サイトの認知度を高めより多くの方に閲覧してもらうことが必要であり、定期的な情報更新が必要である。
--

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 福祉人材は今後も確保していく必要があることから、継続してポータルサイトを運営・保守を行い、イメージアップを図る。
--